



# 神奈川県東ロータリークラブ

## KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590/CHARTERED MAY 29-1976/WEEKLY BULLETIN

2011-2012年度 R I 会長 カルヤン・パネルジー



ココロの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011-2012年度 第2590地区ガバナー 上澤摩壽雄

- |           |       |           |        |
|-----------|-------|-----------|--------|
| ● 会長      | 加藤 仁昭 | ● 会長エレクト  | 飯田 泰之  |
| ● 副会長     | 伊東 英紀 | ● 副会長     | 山本 登   |
| ● 幹事      | 天野 公史 | ● 副幹事     | 西山 潔   |
| ● 会計      | 朝日 達夫 | ● 副会計     | 田口 健太郎 |
| ● S A A   | 山本 芳弘 | ● 副 S A A | 吉田 隆男  |
| ● 副 S A A | 横溝 亘  | ● クラブ会報   | 小山市 康  |

●クラブテーマ「感謝・継承・進化」●



**事務局** ホテルキャメロットジャパン内 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3  
TEL : 045-314-3900 FAX : 045-314-3555  
**例会日** 毎週金曜日 0 : 30 ~ 1 : 30 PM (第5金曜日 6 : 00 PM)  
**例会場** ホテルキャメロットジャパン **創立記念日** 昭和 51 年 5 月 29 日  
**URL** <http://www.kanagawahigashi.com/>  
**E-mail** [kerc@beach.ocn.ne.jp](mailto:kerc@beach.ocn.ne.jp)

2011-2012年度 **第20週報 No. 1719** 2011年(平成23年) 11月25日 第1719回例会記録 12月2日発行

**司会** 西山 潔 副幹事

**点鐘** 加藤 仁昭 会長

**斉唱** 「手に手つないで」

**ロータリーの綱領** 小池 将夫 会員 (第1例会のみ)

**四つのテスト** 植田 清司 職業奉仕委員長 (第1例会のみ)

**ビジター紹介** 神奈川県 R C 金野 克佐 様

**誕生日祝** 我妻 隆邦 会員 (11月21日)  
吉橋佐千男 会員 (11月30日)

**結婚記念日祝** 布施 是清 会員 (11月27日)  
田中龍太郎 会員 (11月27日)  
我妻 隆邦 会員 (11月28日)  
飯田 泰之 会員 (11月30日)



本日〈12月2日〉のプログラム

- ◆ 斉唱 「君が代」「奉仕の理想」
  - ◆ 献立 幕の内弁当
  - ◆ 卓話 「グローバルゼーション」
- ソニー(株) 元代表取締役社長 兼 COO 安藤 国威 様  
(紹介者 田口健太郎 会員)

## 会長報告 加藤 仁昭 会長

- ・地区R財団学友会より9月19日に開催されました東日本大震災チャリティコンサートの協力のお礼状と義援金集計報告が届いておりますので回覧します。

## 幹事報告 天野 公史 幹事

- ・次週、例会時に年次総会を開催致しますので、ご多忙のことと存じますが、ご出席下さいます様よろしくお願い致します。
- ・次週、例会後にクラブ奉仕によるクラブフォーラムを開催致します。多数の出席をお願い致します。
- ・2010-11年度の年次報告書が出来上がりましたので、本日ボックスへ配布致しております。

## 委員会報告

### 社会奉仕委員会 委員長 川邊 正男

#### 【11月22日開催地区社会奉仕委員長会議出席の報告】

1部講演として、神奈川新聞社 阪本光章氏による輝望プロジェクト「被災地の子どもたちに修学旅行を」と題して、主旨及び企画概要及び現在までの実績の講演があり、協賛金の要望がありました。

2部は1～8のグループごとに今年度の社会奉仕委員会の取り組みや実績の報告、及び討議が行われました。大多数が例年と同じような取り組みでしたが、ほぼ全クラブで今年度は東日本大震災被災地への支援を現地のクラブと一緒に実施しているとのことでした。

最後に上澤ガバナーによる謝辞があり、散会となりました。

## 出席報告 金森 欣一 出席委員長

会員総数	56名	(40+16)名	
出席会員数	47名	(35+12)名	
出席率	90.39%		
ゲスト	0名	ビジター	1名
前回補正後	94.34%	前々回補正後	96.23%

## スマイルボックス 横溝 亘 副SAA

神奈川RC 金野克佐様 お世話になります。

我妻隆邦君 誕生祝いと結婚祝いをダブルで頂きました。ありがとうございました。

飯田泰之君 結婚祝い、ありがとうございました。

布施是清君 結婚祝いを頂き、ありがとうございます。30年経て妻も私も年輪をかさね、立派になりました。

田中龍太郎君 結婚記念日祝い、ありがとうございます。これからもポチポチやっています。

加藤仁昭君 ①古川新病院竣工、おめでとうございます。②本日の卓話 梅崎会員、よろしく願います。楽しみにしております。

石川正三君 古川陽太郎が願っていた新しい病院が一周忌を前に

完成しました。クラブから贈って下さる「お花」は12月1日の開院日から飾らせて頂きます。多くの皆様のお心遣いにお礼を申し上げます。ありがとうございました。

河野明光君 青柳さんを始めとした諸兄の親愛の情に深く感謝致します。

山田富雄君 青柳さん、月山さん、須永さん、朝日さん、河野さん、山本登さん、江森さん、先日は色々お世話になりました。

伊澤政宏君 本日より年忘れ家族会の受付が始まりました。12月23日を楽しみにしております。

森永 健君 転居してようやく落ち着きました。

脇田いずゞさん やっと朝晩、冬らしくなりました。新しく買ったコートが着られます。

茂木知子さん ～受付はミタ～山本会員が落し物のパイアグラと自分の葛根湯をすりかえるのを！！

大橋秀行君 先日、祝勝会ありがとうございました。12月31日の世界戦の祝勝会もよろしく願います。

吉田隆男君 ①石川さん、古川病院竣工、本当におめでとうございます。立派に出来ましたね。②脇田さん、タローズベーカー頑張って下さい。

山本芳弘君 ①11月～2月度のテーブルマスター、副マスター様、年末年始を挟んでおりますので、早めにご予定をお願いします。②古川病院竣工、おめでとうございます。

11月25日	16件	68,000円
本年度累計		970,778円

## 卓話

### 「最近思うこと」

梅崎 興生 会員



#### 1. 国を愛すること、及び自分の周りの社会を愛すること

国を愛することが大切だと言うとお前は右翼かと言われるそうですが、そうではありません。自分の周りの社会を愛することと言えば誰も

文句は言いません。しかしながら、人間が生きていく中で一番身近で接触している社会のシステムは、国のシステムなのです。

例えば、お金は国が保証するから価値があるのです。保証しなければただの紙きれでしかありません。毎日が安全に暮らしているのも国が法律を作って悪いことをしたら取締ってくれるシステムがあるからです。小学校、中学校の教育が無料で受けられているのも国のシステムなのです。

私たち日本人は、現在の状態が当然のように考え、国や社会に対して色々な要求や権利を主張しております。しかしながら、権利を主張する時に義務も少しは考えなければいけないと思います。義務とは、自分の国や周りの社会を愛するという事です。暗いと騒ぐばかりではなく、明りを付ける行動が社会を愛する行動の一つだと思います。社会の一員として、自分に課せられた任された仕事をきちんと行い、取引先の信頼を得ることも結果的に社会を愛し、国を愛することに繋がると思います。

相手の喜びを自分の喜びとし、世の中の喜びを自分の喜びと結びつけた時、社会を愛し、国を愛する行為となると思います。反対に、相手を傷つけて、自分だけ得をするような行動は反社会的であり、絶対にやってはいけません。振り込め詐欺や泥棒をする人は、人間の皮を被った動物でしかありません。

ロータリーは素晴らしい綱領を持ち、奉仕の理想を掲げています。これこそ地域社会を愛し、国を愛する団体であると思います。

神奈川県ロータリークラブの今年度の会長 加藤氏は東日本大震災にて大変な被害を受けた七ヶ浜町へ多大な寄付をされました。これも社会を愛し、国を愛する行為だと思い賞賛したいと思います。

## 2. 約束を守り、小さな政府であるべき

民主党は、高速道路の無料化を公約(マニフェスト)に掲げたのに政権を取ってからはあまり言わなくなった。しかしながら、これは現在の金利水準0~0.5%であるならば十分に順番に無料化出来る話であります。横浜新道や第三京浜道は、建設当時の約束ならば無料化しなくてはならない話であります。それが道路公団の役人の都合で儲かる道路はいつまでも料金を取り続けるよう全国プール制を導入して現在に至っています。20~30年前の道路建設当時の金利は5.5%程の郵便預金の金利を利用して、なお且つ20~30年程で建設費用を償却して無料道路にする計画でした。それが現在は当時より5%も金利が安くなっておりまして、建設費用の借金は20年で十分以上の返済が出来ているはずであります。米国では、高速道路はほとんど無料化されており、一部の有料道路があっても建設費用の借金の返済が済むと無料化されております。約束を守る社会となっております。

日本は役人の都合で約束を守らないことが多くあります。マスコミも政治家もあまり騒がないのがこの高速道路の問題であります。高速道路も基本的には無料化すべきです。維持管理費はガソリン税を取っているのです、それで賄うべきでしょう。ガソリン税を道路関係以外に使うなどは約束違反です。距離別にして料金を値上げするなど、とんでもないことです。横浜新道も首都高速道路も現在では生活道路であります。役人を養うために高速道路料金をいつまでも支払うなどはとんでもないことです。

## 3. 財政問題について

日本の国の財政は、借金が多いけれども債務超過ではありません。デフレで円高になっており、その為の不景気であります。デフレ対策の為に計画的なインフレ政策を打つべきと考えます。

GNPが500兆円程度で2%インフレにするならば、10兆円のお札を印刷すれば良い訳です。米国ではクリントン大統領の時に国の財政赤字をお札の印刷によるインフレ政策によって解決しました。日本も同じことをすれば良いと思います。米国はドルの価値が下がりましたが日本は円の価値が元に戻るだけですから問題はあまりないと思います。是非、現在のデフレ、不況、円高不況の対策の為にインフレ政策を実行して頂きたいと思っております。

日本は、過去、関東大震災の時に昭和大不況も重なり、緊縮財政で大変でした。その時政権が代わって、高橋是清は積極財政で国債を大量発行し、インフレ政策で不況を収束させました。現在の日本の状況と良く似ています。今こそ第二の高橋是清が出て来て良いのではないかと思います。

## 4. T.P.P (環太平洋経済連携協定) について

日本は、貿易立国であります。江戸時代幕末の開国か攘夷かで国内が二分し、騒乱しましたが、結局、開国して明治時代を迎えてそして発展しました。今回も色々問題はあれどもT.P.Pに参加して開国をして新しい時代を拓くべきでしょう。

私が仕事をしていた住宅資材の合板業界も30年前には合板の輸入関税が約30%程あり、それを段階的に引き下げることにになり、合板の製造メーカーは大変な大騒ぎをして反対運動をしておりました。現在は、合板の輸入関税は10%程まで下がっております。現在、国内で消費される合板の内、輸入合板が60%、国内合板は40%になっており、30年前以前は輸入合板は30%程で国内産の合板が70%程でありました。合板の製造工場の数も約300工場→150工場となり、国内合板メーカーは廃業や統合も数多くありました。また、生産品目もラワン合板から国内の杉やから松を原料とする針葉樹合板に生産を変更して、ラワン合板の生産は以前の1/3程になりました。色々生き残る方法を考えて、生産品目や生産ラインを研究しております。

今現在、T.P.Pに参加して、合板の関税が10%が段階的10年かけて0%になっても合板製造業界はもう諦めているでしょう。世界の流れには逆らえないと思っております。T.P.Pに反対している農業関係の業界も色々研究し、政府の関税以外の補助を受けながら独自の生き残る考えでやっていくのが世界の流れに沿うことになると思います。

## 5. 沖縄の普天間基地の問題

沖縄の普天間基地の問題は、政治家が色々騒いで問題を複雑にしている。普天間基地は住宅地の真ん中にあるから移転させることは問題ない。移転先とされている辺野古地区の沖合も辺野古の住民の7割の住民は賛成しているからそれ程問題はない。問題は、極めて政治的なことであります。沖縄のマスコミ、沖縄新報と琉球タイムスの両方の編集長が北朝鮮の金日成思想のシンパであることです。また、沖縄大学の学長も左翼の思想家であります。このようなことから、米軍が沖縄から出ていかなければ沖縄は良くならないと思ひ、凝り固まっている考えから行動しているのであります。しかし、現実とは違います。沖縄へ行き、バスガイドやタクシーの運転手

に聞きますと、自分たちはわからないと言います。それでも基地に収用されている土地の方が収用されていない土地より高く売買されていると言います。なぜかという、地代が入るからだそうです。ですから地主は、基地は返還されない方が良いでしょう。

タクシーの運転手は言いました。基地の地主は皆豊かな暮らしをしていると羨ましそうに言っていました。

沖縄の経済は、基地による依存度が大きく、日本政府からの交付金の依存度も大きいのです。地政学的にも沖縄は、軍事基地として重要な地点であります。反対運動があっても政治的決断で早く決めべきでしょう。

## ロータリーの歴史探訪

今年度クラブテーマを「感謝、継承、進化」とし、出来れば我がクラブの創生期やロータリーが誕生してから今日迄の歴史的出来事や当時の事柄を継承していく事もロータリアンとして大切なことではないでしょうか。私自身も大変不勉強であったので、これを機会にロータリーの知識が少しでも得られればと、毎月1回例会の空き時間に紹介していきたいと思えます。

\* 参考文献 田中 毅 著 「ロータリー歴史探訪」

会長 加藤 仁昭

### 第1回

ポールハリスは1868年4月19日ウィスコンシン州ラシーンで生まれた。3歳の時、父の破産でバーモント州ウォーリングフォードで農園を営んでいる祖父母の元に預けられる。しかし両親の愛情にこそ恵まれなかったが、ピューリタンで、信仰深い祖父母や医師で叔父ジョージフォックスの厳格で愛情あふれる育て方は決して不幸ではなく、ましてその少年期がロータリーへの思想の基礎になっているのではないかと。

ポールは1891年6月、23才の時弁護士試験に合格。同じ合格した仲間はずぐ事務所開設の準備をしたが、彼は先輩が言った5年間は1箇所定住しないで各地を回り、あらゆる事を経験する方が良いを実行する為、アメリカ全土とヨーロッパを放浪する旅に出た。

1896年2月27日シカゴに弁護士事務所開設、1900年故郷のウォーリングフォードを訪れる。その時昔の多くの親友達と再会。その時このような友情関係をシカゴでも作れないものかと考える。

1905年2月23日顧客でもあった石炭商シルベスタ・シールに話すと全面賛成を得、その後、鉱山技師ガスターバス・ロア、洋服生地商ハイラムショーレの4人で最初の会合が開かれた。同年3月9日に第二回の会合、この時印刷屋ハリラグレス、不動産業ウィリアムジェッセン、楽器製造アルバートホワイトの3名が加わった。3月23日第三回の会合。この時に初代会長がシール、幹事がジェッセンそしてロータリークラブの名称も決まり役員任期1年、1業種1人も決定した。また新たに保険業チャールズニュートン、洗濯屋アーサーアービンも加わる。

### 第2回

万博後の大不況、ギャングの横行、金儲けのためなら手段を選ばないという職業倫理の低下、信頼関係の欠如の1905年シカゴの殺伐とした時代背景からロータリーは誕生した。一旗上げようとの思い

に駆られて田舎から出てきた人、貧困や政治的迫害から新天地に自由を求めてきた移民たちにとってシカゴは決して住みやすい街ではなかった。大都会に住む人が感じる孤独感やビジネス社会の過酷な自由競争に勝ち抜けるかという恐怖心がゆきわたっていたからこそ、ポールハリスが提唱したロータリークラブが心を開き合った友人たちと定期的に会合を開くことがそんな人々にとってどんなに安らぎを与えた事でしょう。同業者がいると利害関係が出て親睦が阻害されるが1業種1人の定期的会合はその後100年間継続されてきた源である。

1906年1月、最初の定款がポール・ハリス、マックス・ウルフ、チャールズ・ニュートンの起草により制定された。

### シカゴクラブ定款

1. 本クラブ会員の事業上の利益の増大
2. 通常社交クラブに付随する親睦およびその他の特に必要と思われる事項の推進

この頃会員同士の相互扶助が活性化され、やがて積極的な互惠取引に発展していく。当時のシカゴクラブのパンフレットには会員になると事業上のメリットが得られ、会員が商品や材料を購入するには会員相互取引が義務であり、さらに原価で提供することが原則であると明記されている。そして例会毎に前回以降の取引報告の義務もあった。この制度は大きな経済効果があり零細な事業主でもロータリーに入れば必ず事業が拡大大金持ちになれるとさえ言われた。

ポールハリスは会費が高い事に不平を言う会員には原価取引での利潤を考えれば決して高くないと論じた。しかしこういう身内だけで利益を得る身勝手な道理は一般人やロータリー内部からも批判が出始める様になります。

1906年4月、そんな時にドナルド・カーター（弁理士）事件が起こります。会員のフレデリック・トゥィードがカーターにロータリーへの入会勧誘する時にクラブ内の物質的互惠取引の特典を説明すると、カーターは、「職業を持って社会で生活している以上、職業を通じて社会に貢献する事が自分の存在する証となるので、自分達だけの利益にこだわって社会的に何もしない団体に将来性も魅力もない」と述べて入会を断った。その頃のロータリーは簡単に入会出来ない事が大きな魅力で、その頃は誰でも入会を勧めれば二つ返事でOKが当然であったのがカーター事件はシカゴクラブに大きなショックを与えた。しかし、ポール・ハリスとフレデリック・トゥィードはこの処理を極めて適切に行った。それにより後のロータリーの発展に繋がった事は間違いない事実であった。

物質的互惠取引と親睦のみに終始する事に限界を感じ次のステップアップを考えていたポール・ハリスは絶好のチャンスと捉え直ちにロータリーの在り方の転換を決断し、定款を改正することを条件にドナルド・カーターに再考を促し彼も快く入会をした。

その定款とは“3. シカゴ市の最大の利益を推進し、シカゴ市民としての誇りと忠誠心を市民の間に広める”。

(次号にて第3回以降を掲載致します)

次回《12月9日》の卓話予定

テーマ「未定」

WBA世界ミニマム級チャンピオン 八重樫 東 様  
(紹介者 大橋 秀行 会員)